



# C O R P O R A T E G U I D E

会社案内

私たちパシフィックグレンセンター株式会社は  
1967年（昭和42年）に丸紅グループの穀物輸入基地として創業し  
半世紀にわたり日本の食を支える社会インフラとして  
穀物・飼料原料、油脂原料の安定供給に努めてまいりました。

大型の穀物船で世界各地から日本に運ばれてきた穀物は  
私たちのサイロに保管された後、飼料、油脂、酪農畜産、食品加工などの  
各流通段階で姿を変え、食肉、卵、乳製品、食用油などとして  
家庭の食卓やレストランのテーブルを彩り、日本の食文化を支えています。

私たちは日本の食卓を支える穀物輸入の「とびら」として  
世界各地から穀物船を受け入れ、食料の安定供給に今後も貢献してまいります。  
また、時代の変化を読み取り、更に高度な情報サービスを駆使し  
安心・安全な穀物をお客様にお届けする体制を整えることで  
穀物輸入基地として、未来への「とびら」を切り開いてまいります。

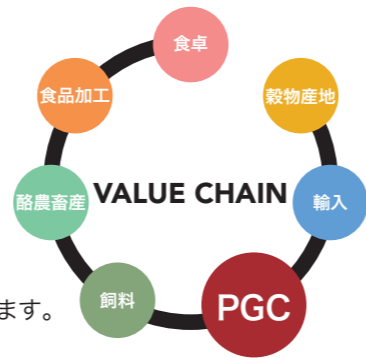
## サイロ業界のトップランナーで在り続ける



バリューチェーン

穀物バリューチェーンにおける日本の輸入拠点として

日本はコーン、大豆、菜種、麦、大豆粕などの大部分を輸入に依存しています。  
丸紅グループは、北米、南米に穀物輸出サイロを保有し  
世界の穀物生産地から、日本の食卓までを繋ぐバリューチェーンを構築しています。  
丸紅グループの一員である私たちパシフィックグレインセンターは  
このバリューチェーンの輸入拠点として日本の食を支えています。



● 穀物・飼料原料の輸出拠点



世界各国から日本へ輸入される穀物

コーン、大豆、菜種、麦、大豆粕などは世界中から大型の穀物船で運ばれてきます。

穀物・飼料原料の輸入相手国

米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、チリ、ペルー、オーストラリア  
中国、タイ、インド、南アフリカ、ハンガリー、ルーマニア、ウクライナ、ロシア等

事業内容

日本の穀物供給を支える万全の品質管理体制と多彩な出荷形態

穀物船によって世界各国から運搬されてきた穀物は、植物防疫検査・通関を経てコンピュータ制御された最新鋭の設備でスムーズに荷揚げ・搬入され徹底した品質管理体制のもと、サイロや倉庫内で安全に保管されます。その後、ベルトコンベアやトラック、内航船など、様々な流通形態に対応して国内の飼料、油脂、食品加工メーカーへ安心・安全を第一に出荷されます。

業務の流れ



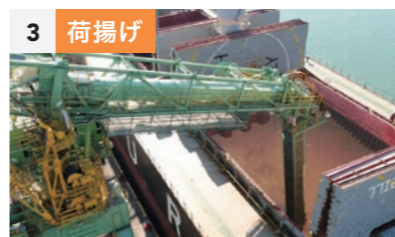
1 本船入港  
配船会議、荷捌会議で決定した荷役スケジュールに従い本船が入港します。



2 検査・通関  
植物防疫所が到着した穀物を検査します。



操作室  
穀物の搬入・保管・搬出の全行程をコンピュータで制御します。



3 荷揚げ  
ハッチ内の穀物はアンローダーで荷揚げされコンベアでサイロへ搬入します。



4 保管  
搬入された穀物を、サイロで保管します。サイロには鋼板製とコンクリート製があります。



5 出荷  
コンベア  
お客様の工場へ直接繋がれたコンベアで穀物を出荷します。



内航船  
小型の内航船に穀物を積み替え、日本の他港へ出荷します。



トラック  
コンベアの繋がっていないお客様へはトラックで穀物を出荷します。

# BRANCH

西日本支店

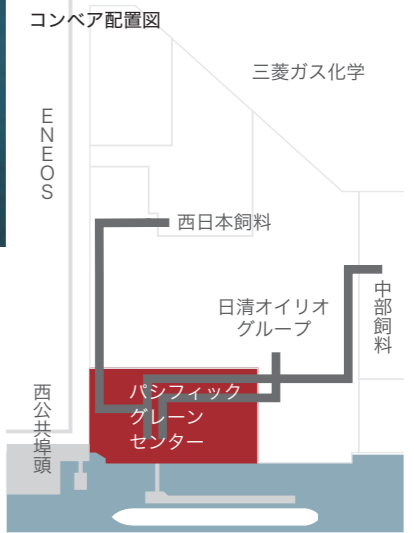


MIZUSHIMA



西日本支店

- ・サイロ収容能力:101,175トン
- ・プライベートドルフィン:192m
- ・最大荷役能力:1,500トン/時
- ・荷役アンローダー:3基



## 設備概要

1. 敷地面積	9,498㎡(2,878坪)		4. 荷役設備	機械式アンローダー	600トン/時 2基		
2. サイロ収容能力	コンクリートサイロ	53,075トン	ニューマチックアンローダー		300トン/時 1基		
	(1,075トン×33本:直径7.4m×高さ40m) (900トン×16本:副ピンサイロ) (200トン×16本:分割副ピンサイロ)		5. 搬入設備	アンローダー搬入ライン	500トン/時 2系列		
銅板サイロ	48,100トン	3. 岸壁	プライベートドルフィン積橋	192m 水深12.9m (パナマックス級本船 接岸可能 / レール幅9m・レール長さ185m)	6. 搬出設備	製油工場送りコンベア	500トン/時 1系列
	(1,000トン×28本:直径6.8m×高さ44m) (1,600トン×5本:直径8.8m×高さ42m) (1,100トン×11本:直径7.6m×高さ40m)					プライベート岸壁	190m 水深6m
						内航船・舢・積み込み設備	500トン/時 1系列
						トラック積み込み設備	200トン/時 3系列
						トラック積み込み設備	100トン/時 2系列

岡山県 水島港

## 瀬戸内海全域をカバーする 西日本最大級の穀物供給基地

西日本支店は、1967年（昭和42年）岡山県水島港にパシフィックグレーンセンターの最初の基地として設立。

瀬戸内海中央に位置する水島港において、日清オイリオグループ、西日本飼料、中部飼料などの

製造メーカーへ穀物を供給するだけでなく、瀬戸内海を囲む全域に供給することで

関西、中国、四国地域の酪農畜産と油脂事業を支えています。

# BRANCH

南日本支店



南日本支店

- ・サイロ収容能力: 238,259トン
- ・プライベートドルフィン: 170m
- ・最大荷役能力: 1,700トン/時
- ・荷役アンローダー: 4基



## 設備概要

<b>1. 敷地面積</b>	72,180㎡ (21,872坪)	
<b>2. サイロ 収容能力</b>	コンクリートサイロ【主原料】	61,179トン
	(1,101トン×39本: 直径7.5m×高さ40m) ( 840トン×18本: 副ピンサイロ) ( 195トン×16本: 分割副ピンサイロ)	
	鋼板サイロ【主原料】	169,280トン
	(1,810トン×71本: 直径9.7m×高さ40m) (1,130トン×29本: 直径7.6m×高さ40m) ( 400トン×20本: 副ピンサイロ)	
<b>3. 倉庫</b>	平屋倉庫	5,905㎡
	保税蔵置場 定温倉庫(燻蒸倉庫) 648㎡ 定温倉庫 378㎡ 普通倉庫(燻蒸倉庫) 324㎡ 普通倉庫 1,080㎡ 4丁目倉庫 普通倉庫 2,395㎡	
<b>4. タンク</b>	6,850トン	
	糖蜜タンク (3,500トン×1基, 2,000トン×1基, 50トン×2基)	5,600トン
	動物油タンク ( 350トン×1基, 300トン×1基, 200トン×1基)	850トン
<b>5. 岸壁</b>	プライベートドルフィン	170m 水深14m (パナマックス級本船 接岸可能 / レール幅9m・レール長さ155m)
	プライベート副棧橋	60m 水深6m
	プライベート岸壁	150m 水深4.5m
<b>6. 荷役設備</b>	機械式アンローダー	800トン/時 1基
	ニューマチックアンローダー	400トン/時 2基
	ニューマチックアンローダー	100トン/時 1基
<b>7. 搬入設備</b>	アンローダー搬入ライン	500トン/時 3系列
	トラック切込搬入ライン	500トン/時 2系列
	パイプライン搬入ライン(糖蜜、動物油、植物油)	各1系列
<b>8. 搬出設備</b>	工場送りコンベア	200トン/時 5系列
	工場送りコンベア	120トン/時 1系列
	内航船・舢・積み込み設備	500トン/時 1系列
	内航船・舢・積み込み設備	200トン/時 1系列
	トラック積み込み設備	200トン/時 15系列
	トラック直積み込み設備	100トン/時 24系列
	パイプライン搬出ライン(糖蜜、動物油、植物油)	各1系列
	パイプライン搬出ライン(糖蜜、動物油、植物油)	各1系列

鹿児島県 谷山港

## 桜島を臨む 日本の酪農畜産の重要拠点

1971年(昭和46年)に設立した南日本支店は、桜島を臨む錦江湾で、日清丸紅飼料をはじめとする多くの飼料会社とコンベアを繋ぎ、巨大な食のコンビナートを形成しています。収容能力23万トンを超える日本最大級の穀物サイロは、南九州全体の最も重要な穀物供給基地として、多くの酪農畜産や食品加工業を支えています。

# BRANCH

八代支店



YATSUSHIRO



八代支店

- ・サイロ収容能力: 63,740トン
- ・公共岸壁: 240m
- ・最大荷役能力: 1,200トン/時
- ・荷役アンローダー: 2基

コンベア配置図



## 設備概要

1. 敷地面積	52,775㎡ (15,992坪)	
2. サイロ収容能力	銅板サイロ【主原料】 (1,650トン×25本:直径9.3m×高さ40m) (1,700トン× 6本:直径9.6m×高さ40m)	51,450トン
	銅板サイロ【副原料】 ( 600トン×14本:直径6.4m×高さ40m) ( 615トン× 6本:直径6.4m×高さ40m 減圧サイロ) ( 100トン× 2本:ストックタンク)	12,290トン
3. 倉庫	平屋倉庫 普通倉庫 フレコンバック置倉庫 機械棟 トラックスケール	4,288㎡ 3,302㎡ 947㎡ 39㎡ 50トン
4. 岸壁	公共岸壁 (パナマックス級本船 接岸可能 / レール幅11m・レール長さ180m)	240m 水深14m
5. 荷役設備	機械式アンローダー	600トン/時 2基
6. 搬入設備	アンローダー搬入ライン トラック切込搬入ライン	630トン/時 2系列 300トン/時 1系列
7. 搬出設備	工場送りコンベア トラック積み込み設備	200トン/時 1系列 200トン/時 4系列

熊本県 八代港

## 九州第二の拠点 熊本県八代港の穀物供給基地

八代支店は南日本支店に続く九州第二の拠点として 1995 年（平成 7 年）に熊本県八代港に設立され隣接する八代飼料をはじめとする飼料会社に穀物と飼料原料の供給を行っています。  
2007 年（平成 19 年）には輸入大豆粕用の専用サイロを増設し、阿蘇に広がる酪農畜産を支えています。



パシフィックグレンセンター株式会社  
Pacific Grain Terminal Co., Ltd.

本社 〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 7 番地 住友不動産神田ビル 11 階  
Tel. 03-5283-5223 (代表) Fax. 03-5283-5224

西日本支店 〒712-8071 岡山県倉敷市水島海岸通 3-2  
Tel. 086-448-3611 (代表) Fax. 086-448-6903

八代支店 〒866-0034 熊本県八代市新港町 3-12  
Tel. 0965-37-3241 (代表) Fax. 0965-37-3246

南日本支店 〒891-0122 鹿児島県鹿児島市南栄 4-20  
Tel. 099-268-8291 (代表) Fax. 099-269-5553

URL <http://www.pgcc.jp/>